

SSKA

東腎協

1999年5月25日

No.128

おもな記事

特集／東腎協の活動の実際

■特集・東腎協の活動の実際：2～5 ■コラムおおつか発：5 ■第27回総会／朝の小雨にか  
かわらず過去最高の29人：6～7 ■東腎協活動のまで：8～10 ■リレー・エッセイ／田中助  
成：11 ■会員さん訪問（允）／加藤茂さん：12～13 ■私たちの患者会回／調布東山クリニッ  
ク腎友会：14 ■嬉泉病院、これから問われる診療の質／齋須貞文：15 ■なかまのたより：16  
■故池田たか子常任幹事への追悼／糸賀久夫・木村妙子・藤原実：17 ■共に生きる⑤／加藤  
茂：18 ■かんたんクッキング⑥／中尾努：19 ■事務局から・表紙のことは：20 ■東京都  
の平成11年度腎臓移植相組織適合性検査費助成について：21 ■ドキュメンタリー「脳死をこえ  
て」がオベラに：23



鯉のぼり（写真・榎永照也）

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）

事務局・〒

郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail touzin@msj.biglobe.ne.jp

# 事務局では、誰が、どのように働いているのかな

執行部は頑張ります。

## 事務局の仕事の内容

まばゆいばかりの新緑、会員の皆様、いかにお過ごしでしょうか。東腎協は昭和四七年（一九七二年）一月に結成されました。この四月二十五日第二七回総会では、平成一〇年度活動報告、決算報告そして、平成一一年度に向けての活動方針、予算などの承認を受けました。活動に取り組んでいくべき執行部である常任幹事も承認会長をはじめ、三三三人の体制が整いました。

常任幹事会は教宣、編集、渉外、会員拡大交流などの委員会、青年部で活動方針を執行しています。地域的には、都内を多摩部、北部、中南部、東部と四ブロックに分け、きめ細かな組織体制で、会員相互の親睦と友愛に心がけ、命と暮らしを守るために、事務局を中心に活動しています。

執行部は活動強化のため總會宣言を重く受け止め、歴代先輩の皆さんが生命を賭して、勝ち取った数々の成果を踏まえながら、後退無き医療、福祉、年金制度を幹事さんをはじめ、患者会の皆さんと大きなスクラムを組んで、守っていかなければなりません。そのために、

その中心的役割を果たす事務局内の仕事の内容を簡単に、お話させていただきます。勤務体制は表の通り、大体、三～五人体制を取り、月曜日から金曜日まで朝九時一五分から、五時まで開局しています。

仕事の内容は誌面で簡単に説明することは難しいのですが、専従職員の森事務局長、木村事務局次長、広瀬事務局員を中心として一〇〇以上ある患者会、七〇〇人近い個人会員との連絡、管理業務を行っています。住所の変更など即座に訂正しなければ、各種催しや会報の発送に支障をきたします。

森事務局長、小田原事務局次長、木村事務局次長を中心に、手伝いの軽部、生井常任幹事、大崎青年部員などが、火、木で、常任幹事会、幹事会、総会、関東ブロック会議資料・報告作成、東京都予算要請文書、会員拡大文書、各委員会、ブロックの文書作成、パソコンの管理を担当、会議場の予約、そして日

勤務体制予定表（1999年度）

	月	火	水	木	金
森	○	○		○	○
木村		○	○	○	
瀬上	○		△		○
井上	○		○		
小田原		○		○	
森田		○	△	○	○
軽部				○	
生井				○	
小川					○
渡辺			△		○
納島	発送作業のあるときに出勤				
大崎		△			
合計	3人	4～5人	2～5人	5人	5人

※ △印は原則的に隔週勤務

## 東腎協の事務局を支える人たち



左から糸賀会長、木村事務局次長、森事務局次長、広瀬事務局員



左から井上会計、森田副会長、小田原事務局次長、軽部常任幹事



左から生井常任幹事、納島常任幹事、大崎青年部員、渡辺常任幹事

東腎協を支えているのは会員一人ひとり  
です。事務局は大塚駅徒歩5分です。  
気軽にお立ち寄り下さい。



小川副会長

常業務の傍ら「東腎協」の発行も手がけています。井上会計は帳簿記入、決算作成を担当しています。

広瀬事務局長、森田副会長、渡辺常任幹事、小川副会長が月、水、金と、印刷製本造りに勤んでおります。また会報発送については、連日、納品常任幹事が出る時もありますが、「ぜんじんきょう」、「東腎協」が、一度に納入されることも多く、広がった新事務所も所狭しとなります。置き場所の整理をしても、本棚をふさぐため速やかに発送準備にとりかからなければなりません。発送までには各患者会の会費納入帳簿で（その都度数名の変更があるので、この管理も正確を求められます）、会員数を確認し、発送控えに記入、担当者で間違いの無いよう再度確認した後、各患者会宛て部数作り、梱包し、宅急便発送となります。

個人会員については、「東腎協」約七〇〇部、「ぜんじんきょう」約六〇〇部を、一部ずつ帯封を巻き付けるように包み込むわけですが、帯封は郵便番号順に分けて、包み込んだ会報を同番号五部以上を束にして、何番から何番まで何部と、郵便局専用の複雑な提出書類に書き込み、全部を集計しなければなりません。その束を布袋八から一〇袋に分割して収納し、本局まで持ち込まなければ、低料三種郵便物として扱ってもらえません。

その他に封筒で発送する患者会分もあり、二人で、タクシーに積んでいくわけですが、

時によると厭々運転手に会うこともあり、顔を見合わせることも度々です。さて、郵便局に着いて、一人が台車にタクシーから積み替え、一人は集荷窓口で、書類提出、料金支払い、見本誌提供と済ませ、海外発送分については、一般窓口まで支払いに廻ります。以上が専従、専任役員が取り組んでいる仕事です。筆で綴る以上に事務所の仕事は多様化、多量で、食事時間でもまわらないのが実状です。皆透析患者ですので、厳しさを感じる時もあり、人によっては毎週、マッサージにかかっている人、お母さんが入院中で、病院と事務所を掛け持ちで頑張っている姿を見て、筆者自身も頑張らねばと心がけています。

総会でご自身が話された通り、悪いことに森事務局長が昨年八月からシャントトラブルで入院し、人工血管手術後、辛い日々を過ごし、退院後も痛さをこらえ、事務局の仕事に専念しました。森さんは痛いなどと言わず、私たちの気持ちをはぐすために、自分から冗談を言い、周りを和ませる温厚な人です。今年になって、一月四日、緊急入院で腸穿孔とわかり、危険な状態も生命力の強さで病と闘い、良い状態に向かうと事務局が心配で、病院から電話をしてくることもしばしばでした。二月には胃の手術のため再入院し、早期だったため内視鏡手術で済みましたが、固いものが食べられないのに四月半ばからは火、木と出勤してくれ、東腎協の鏡といっても過言ではありません。

しかし、あとを預かる木村事務局次長もこれまた、大変で流感にかかっても、治りきらないうちに、熱で顔も赤く、咳をしながらの仕事の時もありました。糸賀会長も透析日でない時は仕事が終わると、事務所に来て、打ち合わせをしました。木村次長は資料作成に追われ、編集業務と両方で、朝九時から夜九時まで仕事することもあり、休日も出勤し、東腎協活動に支障をきたさないよう頑張りがけ、四月二十五日の総会が無事済んだ時は万感の思いだったことでしょう。

森事務局長が顔を見せてくれた時は一同笑顔で祝福し、また、事務局が軌道に乗る日も近いと思われます。このように一生懸命仕事に打ち込んでいる姿は見えにくく、あえて、筆を執りました。

また常任幹事も各委員会、ブロック単位で活動し、会員皆さんの声をできる限り吸収し、活性化の一端とすべく、努力しています。しかし、世相は厳しく、ご存知のように四月十九日のJPCの国会請願署名主旨にもありますように、医療保険制度抜本改革の名のもとに、上限以上の薬剤費一部自己負担化など、審議されています。

## つれからの運動JPC

平成一二年一度施行予定の介護保険制度問題など私たちにとって油断のできない年であり、東腎協として、関心を持って、対応且つ行動をとっていかねばなりません。七〇〇〇

人の仲間が一体となり、誰もがより良い透析生活を送り、誰もが安心して差別なく、介護が受けられるような、介護保険制度でなければなりません。

保険あつて介護無しといわれるような案は論外です。新聞紙上(朝日新聞)で見える限りでは全国市町村アンケートでは、保険料も六五歳以上の第1号被保険者、四五歳から六四歳までの第2号被保険者では違い、各区市町村の財政によつても違つてくるということですから。

年金受給者は年金から天引きとか、また、三七〇九の市町村のうち、二五三四の市町村の回答によると、六五歳以上のお年寄りから集める保険料月額見込みが、五〇〇円以上、

## コラム おおつか

### 介護保険事業

#### 計画を知ろう

来年四月にスタートする介護保険の運営主体である区市町村は、定されたかで異なります。区市町村の窓口申し込むと、訪問調査が、その結果などをもとに区市町村の認定審査会が判断します。「介護給付」には、在宅サービスと、施設でのサービスがあり、本人が自由に選ぶことができます。

四五〇〇円以上、四〇〇〇円以上、三五〇〇円以上、三〇〇〇円以上が一〇〇〇カ所以上の市町村であるということでした。

介護料についてもランク別であり、認定医が中心となり、認定審査会が判断するそうです。とにかく、厳しい平成二二年度であり、平成二一年度は節目の年と言わざるを得ません。全腎協・東腎協・地域腎友会、心して、行動が必要であります。

東京では石原慎太郎氏が新都知事に就任し、医療・福祉についてどのような行政を執るのか、重要視しながら、対応に心がけていかなければなりません。陳情行動、予算要請行動の積み重ねの最も大事な年であるとの認識を持ち、七〇〇〇人会員全体が輪の中で、整然

と行動し、協力をお願いしたいのです。

そのために、事務局は骨身惜みまずの努力を続けています。常任幹事も糸賀会長を先頭に東腎協強化に努め、時折、事務局のお手伝いもしていただきたいし、筆者自身心疾患もあるもの、できる限りのことはと念じています。

人のためではなく、自分自身のためであり、何度でも申し上げるように、現状の厳しさを認識し、安心して透析を受けられる日々を堅持することを祈願し、一生懸命東腎協常任幹事一同、また事務局一同頑張りますので、会員皆さんにご協力をお願いして筆を置きます。

(東腎協副会長 森田 廣明)

また、標準的なサービスとは別に、「区市町村特別給付」というサービスも認めています。これら別のサービスを加えることを「横出し」と呼びます(自治体の条例で国の法律より手厚いことを示す用語)。

私たち透析患者の中では、高齢化や、糖尿病性腎症による透析導入、長期透析による合併症など、要介護問題が年々、深刻になっていきます。特に通院困難な患者が増え、家族の週三回、毎回の介助もかけましよう。(糸賀)

## 第27回総会

# 朝の小雨にかかわらず 過去最高の二八二人

四月二十五日、第二十七回総会はその会場（お茶の水、総評会館）と、前日からの雨天の中で開催されたにもかかわらず、二八二人の会員が参加し、熱心な討議が行われました。

東京都の悪化した財政状況の中で、石原新都知事の就任によりさらに厳しさを増す可能性もある透析医療費、透析環境に我々が対抗していくには、東腎協の一層の団結が必要であることを全員が認識した総会でした。

一時三〇分、司会は高橋副会長で、昨年逝去された池田常任幹事を始め、亡くなられた会員皆さんのご冥福を祈って黙祷をささげました。

今井、榊原両氏を議長に選出し、会議は始まりました。糸賀会長は「石原新都知事には都民本位の都

政を期待する。マル障、福祉手当の継続には強い関心をもって見守りたい。介護保険制度は透析患者独自のサービスについて、条例決定を見ながら東腎協として対応したい。また、透析医療費の削減、包括化が進められる中で医療レベルの低下につながるないように運動を続けたい」と挨拶しました。

来賓の挨拶、祝電、メッセージが紹介された後、議事に入りました。木村事務局次長から「何人かの活動する役員が入院を余儀なくされた中で厳しい会運営であった」と一九九八年度（平成一〇年度）活動報告があった後、井上会計担当の決算報告は藤原氏の会計監査報告で妥当と認められ、一括質疑応答の後、三報告は出席者の拍手で承認されました。

昼食には時間がずれ込みました。青年部やボランティアの協力



で弁当を配布しました。次に榊原会長から「役員も総て透析患者であり、会員のメンバーシップが大切です」と前置きして、一九九九年度活動方針案が提案され、予算案（井上会計）、規約改正案（小田原常任幹事）が提案された後、活動方針も原案どおり大きな拍手で承認されました。

スローガン案（小野常任幹事）、総会宣言案（押山オブザーバー・小池会）、新役員選出（藤原常任幹事）が拍手で承認された後、小川新副会長より閉会挨拶があり、全議事が終了しました。記念講演は宮田敏男氏（東海大 学助教授）により「透析合併症の



宮田敏男助教授

### 主な役員の紹介

会長 糸賀 久夫

（松和患者会西新宿支部）  
副会長 一ノ清明

（東高円寺フエニックス会）  
副会長 小川 嗣雄

（立川北口駅前腎友会）  
副会長 北爪 勇（湯島腎友会）

副会長 小泉 佐内（杏林腎友会）  
副会長 高橋勇二郎

（田端駅前クリニック）

副会長 原 三代吉(腎研友の会)  
副会長 堀和正

副会長 (上野しのばず会)  
副会長 森田廣明

副会長 (森山病院友の会)  
副会長 柳光夫 (サボテン会)

事務局長 森 義昭  
(人工腎臓虎の門・高津会)

事務局長次長 小田原庸吉  
(吉祥寺あさひ腎友会)

事務局次長 木村妙子  
(上野しのばず会)

会 計 井上寧枝  
(吉祥寺あさひ腎友会)

常任幹事 相田 勝三 (あけほの友の会)

生井 克子(阿佐谷すずき腎友会)

今井 功 (大和病院友の会)

押山 大作 (小池会)

小野 協子(東海病院ひまわり会)

金子 智(松和患者会日支部)

軽部 和之  
(立川相互腎クリニック希望会)

久保 正業  
(松和患者会西新宿支部)

神原 靖夫 (高中腎友会)  
佐々木利喜栄 (森山病院友の会)  
清水 功一  
(調布東山クリニック腎友会)  
下島 正資 (大塚台腎友会)

田中 正成 (聖路加ニレレ会)

東野 榮夫 (あけほの友の会)

納島 慶吉  
(新小岩クリニック友の会)

藤原 実  
(嬉泉病院ニレレ友の会)

星野 祐介 (大塚台腎友会)

山田 秀行 (今尾医院腎友会)

渡辺 忠志  
(人工腎臓虎の門・高津会)

会計監査 篠原 栄一  
(中野クリニック腎友会)

松下よう子  
(嬉泉病院ニレレ友の会)

相談役 相談役 泉山 知威 (すずらん腎友会)

激励ありがとう  
ございました  
(以下敬称略)

■来賓 東京都議会議員

新常任幹事の皆さん

都議会議長 民主党副幹事長 和田 宗春

日本共産党東京都議会議員 和田 宗春

日本臓器移植 かね佳代子

ネットワーク常勤理事 玉置 勲

■祝電・メッセージ 東京都議会議長 田中 見三

都議会議員 民主党 幹事長 内田 茂

・社会民主党・都議会議員 藤田十四三

・東京都衛生局長 柳澤英治郎

・東京都福祉局長 石川 雅己

・東京都労働経済局長 大間東支夫

・東京都高齢者施策推進室 室長 神藤 信之

・社団法人日本透析医学会 平澤 由平

・東京女子医科大学・第四内科 教授 二瓦 宏

油井 清治

・東京難病団体連絡協議会会長 北爪 勇

・あかつき印刷株式会社 大塚 隆三

・扶桑薬品工業株式会社・取締役 東京第一支店長 三柳 順一

・社団法人全腎協の正会員各県 愛知・青森・秋田・茨城・岩手・

愛媛・大分・大阪・岡山・沖縄・ 香川・鹿児島・神奈川・岐阜・京

都・熊本・群馬・高知・埼玉・佐 賀・滋賀・鳥根・静岡・千葉・徳

島・栃木・鳥取・富山・長崎・長 野・奈良・新潟・兵庫・広島・福

島・北海道・福岡・宮城・宮崎・ 山形・山口・山梨

■寄付金 (財)日本臓器移植ネットワーカー

会場募金箱 金二〇、〇〇〇円

四、八〇一円



上から相田勝三、今井功、押山大作、神原靖夫、星野祐介さん

## 要介護透析患者の介護保障を 求めて、国会請願実施

全腎協は、三月二五日、「腎疾患総合対策」の早期確立を要望する国会請願を行いました。

今回で、二八回目となる請願行動であり、全体の署名数は、九八万八五六二人分に達しました。(東腎協の署名数は、五万一千三八〇人)

東腎協からは、常任幹事を中心に一八人が参加しました。

議員会館での国会請願集会には、全国から一八〇人の患者・役員が参加し、会場あふれんばかりの熱気でした。来賓の議員より次々と激励のあいさつをいただき、その



国会請願で要請する糸賀会長(左)

後、議員会館の各議員を訪ねて、衆・参両院への紹介と要望実現を要請してまわりました。  
東腎協の参加者は三グループにわかれ、主に参議院の二二人の先生方に要請を行っている、要介護透析患者が急増している実情を訴え理解を求めました。

## 「腎疾患総合対策」の確立を求めて 厚生大臣に要請



国会請願で宮下創平厚生大臣に要請する

全腎協の国会請願が行われた三月二五日(木)、同日、東腎協は、要請行動の一環として、異例の厚生大臣要請を行いました。  
これは、東海病院ひまわり会の松井さんのお力添えにより急速実現したものでした。

宮下創平大臣には、現状の透析患者の抱えている問題を話し、特に近年の特徴として、糖尿病か

らの透析導入者が急増していること、②透析患者の高齢化、合併症による重症化が進んでいることなどを訴え、その対策を要請しました。また、来年から始まる介護保険では、通院の困難な透析患者のために、ホームヘルパーの増員など通院介護の確立を要請しました。大臣は、透析についての若干の知識は、あったものの、具体的に

実情を聞かれ、「皆さんのご苦労がよくわかりました。私たちも、できる限りの努力をさせていただきます」と話されました。

## 「医学生生の授業に参加」

### 「透析ライフの体験を語る」

透析患者の生の声を直接大臣に聞いていただけたことは、とても意義のあることだと思います。

昨年引き続き今年も四月九日(金)、東京医科歯科大学の新五年生の授業である「総合診断学」の一環として東腎協の役員が自分たちの体験を語り、学生との交流を深めました。

この授業は、担当の丸茂教授から「将来の医者のお母である学生に

患者の生の声を聞かせたい」との相談が東腎協にあり、私たちの体験が学生に少しでも役に立つものならと、始められました。

東腎協からは、五人の役員が出席(今年は女性役員も出席)、他に透析医学会事務局から一人の計六人が出席しました。



東京医科歯科大学丸茂教授を囲んで



東京医科歯科大学学生と総会長

一五・六人の少数グループ(六班)に分かれたところへ一人ずつ体験発表者が入り、約一時間ほど、自分の体験を話しました。また、将来、医師になられる学生に望むことなど私たちのお願なども話しました。学生より「透析を宣告されたのか」「職場の理解はあったのか」「移植についてどう思うか」など真剣な質問が出され、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

## 地域腎友会の総会

### 板橋区腎友会

### 篠原新会長にバトンタッチ

学生たちは、体験発表を聞いたあと、グループごとにさらにディスカッションをし、最後に、全体でのディスカッションをして授業の内容を、確認し合うとのことでした。

現在、インフォームドコンセントが叫ばれ、医師と患者との信頼関係が強く求められているだけに、学生との交流は、出席した役員も自分を見つめなおす機会にもなりました。

三月二八日(日)、板橋区立産文ホール会議室にて、板橋区腎友会第五回総会が開催されました。

総会には、来賓として板橋区出身の田中晃三都議会議長をはじめ九名、そして、患者家族二八名が参加しました。

活動方針として、板橋通院サポートセンター「さくらの会」の活動の支援をはじめ、区への要望と

して要介護透析患者対策や災害対策など四項目を決定しました。

黒田会長が事情により鹿見高に帰郷することになり新会長に篠原氏を選出、新体制がスタートしました。

総会后、記念講演に移り、街タリニツク院長の街稔先生より「長期透析と合併症について」と題して講演をいただきました。

講演は、透析患者の基本的な自己管理の話として、水分管理は体重の三%が心臓に負担をかけずに除去できること、リンとカルシウ

## 江戸川腎友さつき会

### 新設された区民ホールで

四月一八日に江戸川腎友さつき会の第七回総会がこの三月にオープンしたばかりの江戸川区民ホール四〇一会議室で開催されました。小雨模様の悪天候にも関わらず、四七人が出席しました。

第一部の議事は司会者あいさつのもと、議長を演出、会長あいさつに引き続き来賓あいさつに移りました。行政側からは日頃、会の運営に指導をいただいている区議会議員の先生方から激励の祝辞を受けました。今年は、四年に一度の統一地方選挙で、区長、区議会議員選挙の告示日という大変、忙しい中のご出席でした。

東腎協からは糸賀会長が出席し、祝辞の中で、社会保障制度、特に医療保険制度の抜本改悪の問題、介護保険導入、私たち透析患者を取り巻く環境は年々厳しくなっ

ムの話など、大変わかりやすい講演で改めて自己管理の大切さを認識することができ好評でした。

きているので、地域腎友会の役割が一層、重要になると述べました。

板橋腎友会の篠原会長は、板橋通院サポートセンター「さくら」の「会」の説明をし、今後お互いに情報の交換をしながら、頑張りましょうとあいさつしました。

平成一〇年度活動報告、会計報告、監査報告があり、二、三の質

## 練馬区腎友あけぼの会

### 新たに地域腎友会誕生

地域の活動が叫ばれている折り、かねてより準備が進められておりました練馬区在住の患者の会が一月三十一日(日)結成されました。

当日は、岩波区長をはじめ各党の区議会議員、医療関係者など多数の来賓が出席され、患者、家族



板橋区腎友会総会



練馬区腎友あけぼの会設立総会

問がきましたが、役員の立場、活動内容をご理解いただき、拍手で承認されました。平成一一年度の活動方針案、予算案、総会宣言案、新役員の選出も承認されました。

第二部は江戸川区の障害福祉について、渡辺福祉課長に講演をお願いしました。

松井氏は会長就任の挨拶の中で、「透析をしながら生きていくには、厳しい時代です。でも、それに負けないで、皆で励まし合い手をつないでいきましょう。工夫すれば、区の施設を利用して、スポーツや旅行なども安くできます。皆が参加できるように楽しい企画をどんどんやりましょう」と話されました。

地域での活動は、要介護問題や災害対策など暮らして深く結びついています。

練馬区腎友あけぼの会の発展をお祈りします。

# リレー・エッセイ



今年もツツジの花が咲き、年に一度の再会を楽しみにしていた同窓会の案内状が届きました。私には能登半島で育った青春時代、苦楽をともにした同級生がいます。終戦直後の教育制度の改革により、旧制中学入學後四年間、下級生が無く、上級生からいじめられどしで、培われた仲間の中で、関東地区在住の二四、五名が集まる同窓会は、かたく手を握り、

## 楽しい仲間との出会いを信じて

聖路加二一レ会（東腎協常任幹事）田中助成

きたように思います。

昨年四月、常任幹事になり、渉外係と教宣委員を担当してからは、月一回の常任幹事会、年二回の地区都立病院の透析ベッド見学と増床要求、関東ブロック会議、中南部ブロック交流会、新患者会の設立総会、国会講願、

新しい仲間ができたのか、せつなく出会えた仲間を傷付けたのかわかりません。まだまだ、時間がかかるでしょう。でも、もし、透析合併症で働けなくなったり、まして超高額医療費の保険適用や他の補助が無かったら、わずか、三〇年前の腎不全患者のように二、三年で家族や親戚に迷惑をかけたまま、今日の私もなかったでしょう。こんな、ありがたい医療保険制度の運動を続けてこられた先輩諸氏に感謝します。

たように近年の日覚しい透析技術の進歩や透析合併症の基と思われるカルボニルストレスを駆除する新薬の開発等、希望に満ちた話も聞けます。私いまま少しの年月、合併症が出ないよう、食事や水分摂取に注意しながら、透析をつづけていけば、きっと、新薬や良きダイアライザー、そして多くのひとの楽しい出会いがあると信じて生きていきます。また、皆様と会える日を楽しみにしています。

肩を抱きあい、頭つきあい、悪言をぶつけあいながら、だんだん昔の顔に戻っていきます。皆それぞれ違った業種の仕事に就いていますが、それが反って、結束を強めたのだと、思います。お互い、違った分野の仕事を知ることができ、そして、助け合えない世界に抱く好奇心が、私の一〇年近くになる透析生活を支えて

特に東京都への予算要請や都議会各政党のヒヤリングのために六回の都庁訪問に参加しました。そのつど、先輩常幹と口論しては苦言を頂戴しながら、何とかついでにきました。このような患者会の用事、透析、そしてO A機器にたづさわる自営業もすべて、日常生活のつながりと思いい、苦にもせず、気がつくかとあつという間の一年でした。

東腎協の活動を通じて種々の合併症を経験された方々や今も合併症と戦っている

人たちと話し合っています、先日の第二七回総会での記念講演にもありまし



# 会員さん訪問

第70回

代々木病院腎友会

加藤 茂さん

## 東腎協との関わり

東腎協とはいつ頃から関わってきたのですか？

加藤 東腎協・全腎協のできる前に現在の全腎協専務理事の小林さんなどが同じ病院（代々木病院）に入院して同じ、運動をおこなっているのを手伝いをしたのがきっかけだと思います。

その当時はなんとなくという感じで、特に志があったというわけではなく、回りの雰囲気や仲間についていったという具合でした。病院には、どういう経過で入院されたのですか？ 今はもう透

加藤さんは、いつも「東腎協」では、「共に生きる」で御存知の方も多いと思います。東腎協とは設立当時から仲間で、「東腎協（機関誌）」の編集を支えてきた方だと伺っています。いまだ、透析にはならず「元気に働いていらしゃるので、いままでの経緯をお話しいただきました。

析の心配はなさそうに思いますが。加藤 当時は一八歳ぐらいだったのですが、三〇年ぐらい前の話でまだよく分ってなかったのでしょうね。少し具合が悪くなったので検査と療養をかねた入院をしていたところで、運動をしている患者さん達の話の間機会があったわけです。

その当時の人は、本当に命賭けといった運動をしていて、必死の様子がよく伝わりました。

今と環境が違うのでしょうか、本当に体に鞭打ってよくやっていたと思います。

「東腎協」編集のほうは、どのような経緯でおやりになられたのですか？ 現在の仕事の関係だったのですか？

加藤 最初のころは、事務局も全く個人的にやられている方がおられたのですが、定期刊行をするということになって、担当がいるということ、たまたま私がなった

ということですが。

定期的に発行するのはかなり大変で、他県の機関誌を参考にしたリしてレイアウトを考えたりしました。

また、昔はタイプ印刷なので、校正は自由でなく、字数を考えながらの作業でした。そして、穴をあけないように、原稿を依頼・催促を行ない、場合によっては、自分で書いたりしました。

実を言うとこの「会員さん訪問」も、どこかの機関誌を参考にして私が考えたものです。そのように内容、原稿書き、原稿収集、編集、割付、校正等々にかなりな

にまで一人でやっていて、しかも当初から、年四回発行だったので、発行、発送が終ってもまた次の号にかかるといったあんばいで、とても忙しかったと記憶しています。

—— 本当に御苦労様です。それから現在のような体制にはどのようなに移られたのですか？



加藤 そのような状態だったのですが、それでは長持ちしないし、分担を考えるとということと、一三年間やってきた役員（常任幹事）もやめることになったので、編集の方法などを複数の人がやれるような形式を整えて、正式な編集体制ができるようにして引き継ぎました。

それは、機関誌の発行が、個人のボランティアのようなのものでは、問題なので事務局や役員が責任編集をしなければならぬという考えからです。

そこで編集と関わりなくなつたのではなく、丁度のところ現在の編集委員長の木村さん連載の頁を引き継いだかたちで、「私の雑記帳」を書くようになりました。

## 絵手紙のことなど

—— 加藤さんの頁を楽しみにしている方も大勢いるように伺ってい

# 機関誌「東腎協」の編集を支え 絵手紙や歩くことに楽しみを



編集委員会が終わって笑顔で語る加藤さん

ます。加藤さんは、絵手紙などの美術・芸術に造詣が深いようすが、幅の広い御趣味をお持ちのようです。加藤 旅行に出掛けたり、美術館めぐりも好きですね。先程も言いましたが、病気にな

って、人との接触も嫌うようになっていた時期に、病気はちがうのですが、同じ入院している人が、すごく楽しそうに絵などの話を、するのには、興味をひかれたのがきっかけでしょうか？

自分より重い病気の人でも明るく生きているのを見ると、自分を省みて、閉じこもるのが急にば

らしくなって、立ち直った経験があります。

どんな病気で同じでしょうか、前向きに生きることは、大切だと思います。

——歩く趣味も持ちだすと聞いていますか？

加藤 山の手線を一週歩くとか、スリーデーマーチで三日間歩くとかに参加したことがあります。とにかく、歩くことは楽しいですね。もちろん、若いころは、山にも登りました。自然の美しさは格別です。

## 会員へのメッセージ

——最後に、会員の方に何かメッセージはありますか？

加藤 この病気になられて、いろいろ考えられたことと思いますが、あまり、くよくよしないで、またあまり肩肘をはることもなく、出来ることを楽しみながら生活する

ことが大切だと思います。

病気の人も健康な人も、障害を持つ方も、健康な方も、それぞれの役割に応じて、共に暮らし、生活することが大切だと思います。

(あとがき)

いつもは、知らない人のインタビュが多いので、ちょっと緊張するのですが、顔見知りなので、ざっくばらんに話が聞けたかなとは思っています。

加藤さんは透析になっておられず、今後その様子がないうようですが、病気になった頃は、それでもかなり悩んでおられたんだなどの感想を持ちました。

そこで、大切なのは心の持ちようだということと、「すこしくらい病気持ち」のほうがいいこと。私はここごろ自分でも驚くほどの無理をしていますので、これを書いて反省しているところで。加藤さんのますますの御活躍を祈念します。

(文・久保 正業)

・カメラ 樹永 照也)

(写真は四月四日の編集委員会後に撮影しました)



# 嬉泉病院、これから問われる診療の質

嬉泉病院

事務局長 斎須 貞文

病院の機能を高め、良質な医療を提供するため、平成七年七月

(財)日本医療機能評価機構が設立されました。そして、平成八年四月から運用調査(試行調査)をはじめ、平成九年四月一日から評価事業の本稼働が開始されました。



嬉泉病院第1透析室(透析室は1～6まで)

当院は 設立以来 腎疾患の 専門病院 として、 地域の信 頼と愛さ れる病院 づくりを モットー に努めて まいりま したが、 これから の社会情 勢すなわ

ち少子高齢社会の二一ズに適切な対応をしていくためには、どうしても第三者による病院機能評価を受ける必要があるという考えをもっておりましたが須藤院長でありました。

そこで、平成八年八月六日当院構による運用調査を受け、このことが動機となつて、本調査に対する準備期間はあまりありませんでしたが、職員の間全面協力を得て受審することができ、そのおかげで平成一〇年三月九日付で認定証の交付を受けることができました。大変光栄であると思っております。

評価調査は六つの領域で、評価項目は一九七項目から構成され、(五・四・三・二・一)の五段階評価により評点が付されます。二一が付されますと認定証が交付されません。幸いにも当院は、(九五%)が「四」、(五%)が「三」であり二以下はありませんでした。

当院が認定証を受けたときには、認定病院は全国の医療機関で五八病院、都内では僅か一〇病院にすぎませんでした。現在は全国で一

〇六病院が認定されているようです。認定病院が増え、地域住民に良質な医療が提供されることは、大変好ましいことであり、これから医療機関の多数が認定病院の指定を受けられることを強く望んでおります。

当院としては、今後認定病院としての責務を一層自覚するとともに、この機会を一つの節目として、腎疾患医療を中核としながら、超高齢社会の進展に伴う医療、すなわち、在宅医療及び訪問看護などへの取り組みについても、前向きな支援活動を展開していかなければならないと思っております。それには、先ず、医師、看護婦等医療従事者の確保が最優先すべき重要な課題であり、速やかに実現をはからなければなりません。

認定証の有効期間は五年と定められておりますので、五年後の認定証更新時の再受審においては、診療、看護部門をはじめとして、各部門が現状より、さらに機能をアップさせ、内容の充実をはかることが必要であります。そのためには、私たちはこれから実施すべき目標をきちんと定め、その目標に向かって地味な道程ではあるうけ

れども、一歩一歩進み続けなければなりません。

患者さん並びに地域住民の皆様には、常日頃からご支援ご協力をいただいておりますが、今後病院の新事業計画を進めるにあたりましては、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。末尾になりましたが、二一レ友の会のみならずのご発展と會員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

## 東腎協編集部註

嬉泉病院二一レ友の会の会報「みちしるべ」第一〇九号(一九九八年九月)から抜粋、掲載させていただきます。一九九九年三月現在では一八六の施設が認定されているとのことです。

昨年のニュースをページの都合により、今号で掲載することになり、申し訳ない次第ですが、お許しください。

まことに、施設透析を受けている患者にとつて、すばらしい朗報で、本文にある通り多くの病院が認定を受けられれば、医療の質の向上に資するものであることは言うまでもありません。

# なかまの たより

会員の皆さんから原稿を募集しています。うれしかった事や悲しかった事、苦しかった事などの闘病記、患者会の催し、ひとり言やカット、写真などなんでも気楽に書いて事務局へ送って下さい

## 署名運動に参加して

個人会員 山田 二九夫

去る一月二三日、東腎協北部ブロック交流会に参加して思ったことがあります。ある方が、署名と募金の件で会員の方々に容易に協力していただけない旨の悩みを訴えておられました。しかし、何故、署名運動を展開すべきなのか、一人一人の自覚が薄すぎるのではないのでしょうか。

全腎協機関誌の読者のページには、度々、掲載されていますが、諸先輩の方々の地道な活動のご努力の土台により、医療費の自己負担が公費負担になって、現在では、さも、当たり前のように無料で、維持透析の延命治療が行われているのです。

先輩方のご努力によりと感謝の言葉が活字となって述べられています。その感謝の気持ちに形に表現する機会が署名運動ではありませんか。署名用紙が手元に届いたから「頼みますよ」だけでは、していただけないのは当然でしょう。もともと、他人ごとではない、自分ごとと捉えたら、どうでしょうか。

医療費が全部、患者負担になった場合を想定したら、果たして、どれほどの患者がご自分の生命を維持できるかどうかを考慮した場合、そこに署名をしない理由はない筈です。

全腎協も東腎協もダイレクトに医療費削減を前面に出して運動すべきではないでしょうか。確かにスローガンの活字は立派です。しかし、患者が受けるインパクトは薄いと思います。

いつまでも、こんな、無料の時代が継続できるとは限りません。もつと、各々が取り組むべき問題ではありませんか。マスコミは少子化、高齢化社会の問題を報道している最中、ご自分の名前すらやっとの想いで署名する人の心が理解できません。

患者は一人ではない筈です。誰しも親兄弟、子供さんがいる人もいるでしょう。なんで、ご自分に関わる人にお願ひできないのですか。明日の生命が懸かっているのですから……。

私自身も署名運動に参加していろいろなことを感じさせていただきましたので、一筆記した次第です。

## 希望の持てる講演

上野しのばず会

押山 寿美子

私は宮田先生の講演から出席しました。透析合併症の治療には今、現在すぐに、問題が解決するということではなかったのですが、私たちが悩ませられては、合併症の研究がこのようなように熱心に、なされているということ、少し、希望が持てるように思います。

午前の総会に出席できず、役員の皆様、ご苦労様でした。

これからは、なるべく、出席するようにしたいと思います。



## 故池田たか子常任幹事への追悼

### 元氣な笑顔の人

東腎協会長

糸賀 久夫

一月二九日、突然の訃報に接し、大変驚きました。

池田さんは、いつも、明るく笑顔を決やさない人で、とても、透析患者とは見えない人でした。

「東腎協」会報No106のリレーエッセイに掲載された行間にも、人柄が溢れています。その会報をご本人が目にすることもなくいつてしまいました。

池田さんは、平成九年度から常任幹事として活躍され、東腎協の活動が板についてきたところでした。これから、数少ない女性の常

任幹事として、活躍を期待していたので、残念でなりません。東腎協が都財政の危機、透析医療費の抑制など厳しい時代を迎えているだけに、大きな痛手です。

私たちは、悲しみを乗り越え、池田さんの遺志を引き継ぎ、東腎協の発展のために全力を尽くしたいと思います。

池田さん、ありがとうございました。安らかに眠りください。

### ご遺族の悲しみに 胸痛む

東腎協事務局次長

木村 妙子

池田さんあなたは、こんなに早く去ってしまつて、三〇日に糸賀会長からの電話で知らされた時、耳を疑いました。あまり寒かったので、血圧によくならなかったでしょう。惜しまれてなりません。事務所に寄つて、出来上がつていた「東腎協」No106を持って、お通夜に駆けつけました。ご遺族にリレーエッセイを説明し、あなた

のお写真の載っているページをお見せしました。ご主人やまだ中学生のお嬢さんの、その泣き、うな垂れているお姿を前に、涙を止めることができませんでした。今でも胸が痛みます。本当に明るくて、常任幹事の中では、得難いお人柄でした。私などは頭でつかちなので、その固い頭をほぐされるような気がしたものです。でも、活動に対する気持ちの強さは学ぶべき点があり、今後も、あなたのように、東腎協のために、頑張ってくださいと思います。心から、ご冥福をお祈り申し上げます。

### 患者負担ゼロを 守ることに熱心

東腎協常任幹事

（嬉泉病院ニレ友の会）

藤原 実

この一月二九日に亡くなられた常任幹事の池田たか子さんは私と同じ嬉泉病院ニレ友の会の会員で、同会の会計担当でした。透析歴は九年で、私の先輩として透析歴二年の若輩の会長を、よく支えてくれました。

池田さんは正義感が強く、思っ

たことをズバズバ発言し、行動もはっきりしていました。会のバス旅行や忘年会、総会などの行事にも率先して参加し、いつも、細かいことに、気を配ってくれました。東腎協の署名や募金活動も不平一つ言わずに、努力してくれました。池田さんの信案は「先輩の患者たちが苦勞して築いてくれた今日の患者負担ゼロの状況を、さらに良い状態で後輩たちに引き継ぎたい」ということでした。だから、会員にならない患者にも「他人のフンドシで相撲をとらないで、会員になって、いっしょに活動しよう」と呼びかけていました。

池田さんが亡くなる二、三日前、ニレの総会の打ち合わせの時、「風邪気味で頭が痛い」とのことでも、元気でしたので「あまり、無理しないでネ」と答えたのですが、その会話が最後でした。まだまだ、若く、これからという時に本当に残念です。今でも、深めに帽子をかぶつて、ケレン味のない笑顔で「元氣？」と言っている池田さんの顔がハッキリと眼に浮かびます。



# 共に生きる

⑤

加藤 茂

三月初旬、世界遺産に指定されているタイのユタヤ、カンボジアのアンコール・ワットを旅行しました。

アンコール・ワットは壮大な伽藍で建物の壁にほどこされた浮彫も美しく目を見はりました。何よりも一番驚いたことは、遺跡群に行く度に

子どもたちが手に手にTシャツや絵ハガキなど持って「これ、買って下さい」とどっと押し寄せる光景でした。日本人は、人が好いのが最初に「イライナイ」と言っても、最後は根まけして買ってしまふのです。私たちツアーの一行もその通りになっていました。

まだ小学校にも入らない小さな子どももいました。毎日、日本人を相手にしているので日本語がとても上手です。学校にも行かず、一日中観光客を追い回して、一体

## 白い可憐なニリンソウ

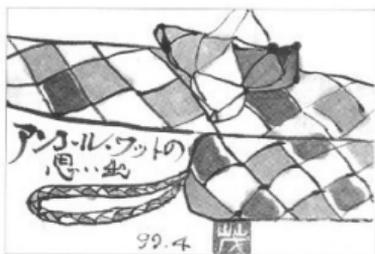
この子たちの衣食住はどうなっているのだろうか、という疑問が湧きました。病気になるたら医者に診てもらえるのかな、とも思いました。

旅行に行った次の週は、上野の東京国立博物館へドラクロワの大作「民衆を導く自由の女神」を見に出かけました。着いて驚いたのは、たった一枚の絵を見るために博物館の周りをぐるっと取り囲む長蛇の列でした。この日は無料観覧日でありわけ人が多かったので

すが、十時ちようどには絵の前に立つことができました。

「一八三〇年に勃発したフランスの七月革命を題材に大胆なポーズをとり、自由を寓意する女神を頂点に彼女に先導され蜂起する民衆の様子を大画面に描出した最高傑作」と案内チラシに書かれています。

四月になると新社会人で通勤電車が満員になります。私は少し早く家を出て、鈍行（各駅停車）に乗って読書しています。最近、ベストセラーになってい



99.4.

アンコール・ワット・竹笛の筒

る乙武洋匡著「五体不満足」を読みました。手足がほとんどない状態で生まれてしまいましたが、本人と両親の努力でたくましく成長していく姿が生きいきと書かれています。ハンディを持っていくのに健常者以上に行動し、周りの人々を変革していく姿勢には驚いてしまいました。

私がよく出かける区立植物園では、連休に入って白い可憐なニリンソウは、花の咲く時期を通り過ぎてしまいました。が、はたんやポピーなどがきれいに咲いて楽しませてくれます。

(一九九九年五月)



ニリンソウ

# かんだんクッキング

～6へ

栄養士さんの作る手軽でおいしい透析食

立川相互腎クリニック・管理栄養士

中尾

努

## 季節の天麩羅

☆材料（一人前）

オオバー一枚、みょうが一個、  
茄子一／＼二本、谷中生姜一本、  
海老一尾、酒少々、ゴマ油一  
少々、薄力粉一〇グラム、卵一

三グラム、水一適量、油一二五グ  
ラム

☆作り方

①みょうがを寝かせ、茎を残しな  
がら、包丁を繊維にそって入れ



カット 山中知子

る。  
②茄子はへたを残し、縦に4本包  
丁を入れる。

③谷中生姜は、根の部分に包丁を  
縦・横各2／3本入れる。

④海老は、尾以外の殻と背わたを  
取り除き、臭みをとるために酒  
をかけておく。

⑤でんぷら粉・卵・水で、合わせ  
衣を作り揚げる。

## 枝豆腐

☆材料（一人前）

枝豆さやと薄皮を含め一三五グ  
ラム、塩A一適量、くず粉一〇  
グラム、だし汁A一二〇グラム、  
豆乳一〇〇グラム、だし汁B一  
三〇グラム、塩B一〇・三グラム  
☆作り方

①枝豆に塩Aをふり、熱湯で柔ら  
かくなるまで茹でる。

②茹で上がった枝豆を、さやかに  
出し薄皮を取り除き、すり鉢で  
すりつぶす。

③くず粉は、だし汁Aと混ぜてお  
く。

④②の枝豆に、豆乳・だし汁B・  
塩Bを順に少量ずつ加えながら  
すり混ぜ、③をこし器を通して  
混ぜる。

海老は揚がる寸前にゴマ油を  
少々振りかける。

\*栄養成分（数字は摂取量であつ  
て、実際の使用量とは異なります）

エネルギー 三一八kカロリー

タンパク質 八・四グラム

カリウム 一一三ミリグラム

塩分 四一五ミリグラム  
〇グラム

⑤鍋に移した後、焦げないように  
気をつけながら強火にかけ、火  
が通ったら弱火にし、一五分  
二〇分練る。

⑥パットを水でぬらし、そこに流  
し入れる。冷蔵庫で冷やせば出  
れ上がり。

\*栄養成分

エネルギー 一一五kカロリー

タンパク質 三・六グラム

リン 五三ミリグラム

カリウム 一七〇ミリグラム

塩分 〇・三グラム

## ポイント

今回は塩分制限の工夫を全面に  
出し、季節・香味野菜を中心に献  
立を立ててみました。

## 事務局から

ご寄付お礼

(株) 扶桑薬品工業様

戸井田 照代様(吉祥寺クリニック腎友会)

故池田 たか子常任幹事

ご遺族池田 力様

嵯峨 清喜様

堤 紀子様(松和会西新宿支部)

南大沢バオレ腎友会様

中野クリニック腎友会様

ライフサイエンス出版(株) 様

武蔵境駅前クリニック様

(期間 一月一日～四月三〇日)

皆様の貴重なお志は東腎協の活動のために大切に役立てさせていただきます。ありがとうございます。ありがとうございました。

新年度会費納入のお願い

昨年度総会で承認された、会費一人五四〇〇円(全腎協一八〇〇円、東腎協三六〇〇円)を基礎とした、一九九九年予算案がこの二七回総会で認められました。

東腎協の活動は会員一人一人がみずから守るために力を出し合

って築いていくものです。ご協力をお願いします。

東腎協今後の日程

6/6 第231回常任幹事会

12/13 全腎協理事会

13 青年部ボウリング交流会

多摩部幹事会

19 関東ブロック災害対策推進委員会

24 対東京都2000年度予算要請行動

7/3~4 関東ブロック会議

(神奈川)

10/11 全腎協相談員研修会

11 第232回常任幹事会

(編集後記)

いつも、じたばたして編集しているのですが、今回は特に段取りが悪く、苦労しました。社会の動きが気になって、ガイドライン法が確定したら、戦争への道が開けるのではないか、そうなったら、透析患者は生きていけないと心配していました。

(木村)

表紙のことは

## 鯉のぼり (井の頭自然文化園)

枡永 照也

四月二九日はみどりの日、こども無料開放ということで家族連れで賑わっています。ここには、恒例の大きい鯉のぼりがあるときいて来たのですが、不況の影響か今年は門の所にこじんまりと据付けただけでした。「なんだこれ!」さらに、風もなくグツタリと濁んでいます。今一つだと思いま

したが、レンズを向けてみました。鯉のぼりは、滝を上る鯉の勢いで、一番上に吹き流し、次に真鯉・緋鯉・子鯉という順番に並べるのが一般的だそうです。もつと風よ吹け、勢い良く泳げと思いついでに、悪いことも飛んでいけと……。



## 東京都の平成11年度腎臓移植組織適合性検査費助成について

死体腎移植を希望する方は、社団法人日本臓器移植ネットワークに移植希望の登録をしますが、登録するには自分の腎臓移植組織適合性検査（HLA検査）が必要です。その検査の費用の一部（一万円）を東京都が助成してくれます。この東京都腎臓移植組織適合性検査費助成事業実施要項が改正され、今まで申請書に押印が必要でしたが、不要となりました。

助成対象者は、都内に住所を有し、人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録を希望する方です。必ず検査前に承認を受けて下さい。

検査は、表1の東京都指定のHLA検査センターで受けて下さい。

申請方法は、「腎臓移植組織適合性検査費助成申請書」と「腎臓移植組織適合性検査費助成承認書」を次の申請先まで請求して下さい。これに必要な事項を記入し、住民票を添えて申請して下さい。

申請先：東京都衛生局 医療福祉部 特殊疾病対策課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

03-5320-4471

### 関東甲信越ブロック指定HLA検査センターについて

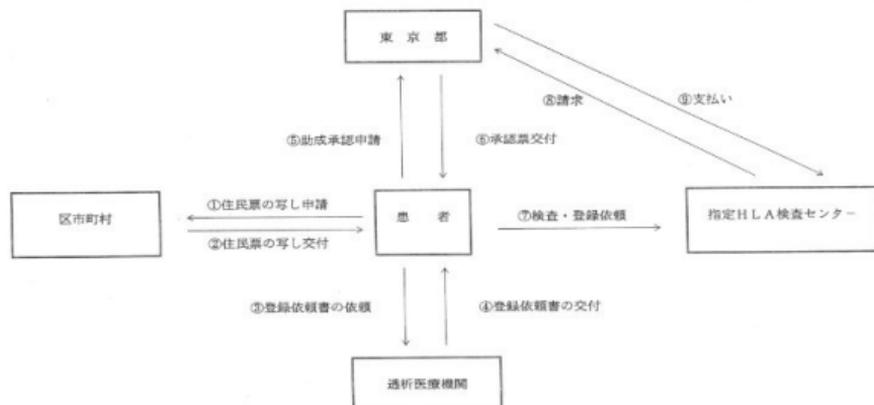
表1 東京都が検査費助成締結予定の指定HLA検査センター

医療機関名	所在地	電話
国家公務員 共済組合連合会 虎の門病院	港区虎ノ門2-2-2	03-3588-1111
東京医科歯科大学 八王子医療センター	八王子市館町1163	0426-65-5611
東京女子医科大学 病 院	新宿区河田町8-1	03-3353-8111

表2 関東甲信越ブロック指定

HLA検査センター
1 国立佐倉病院
2 自治医科大学附属病院
3 埼玉医科大学附属病院
4 東海大学医学部附属病院
5 長野赤十字病院
6 新潟市民病院
7 筑波大学医学部専門学群
8 三思会島田記念病院
9 総合太田病院
10 防衛医科大学校
11 北里大学病院

### 助成方法



大塚製薬

乾いた肌の、  
しつこいカユミに。

10%尿素  
(ウレア)配合で  
高い保質効果

+

3種類の  
かゆみ止め



クリームタイプ

ウレパールプラスクリーム  
メーカー希望小売価格80g 1,600円(消費税抜き)

均一にぬりやすい、ローションタイプ

●乾燥すると、カサついてかゆい時に。

●お風呂あがりや就寝前に、かゆみを感じるカサカサ皮膚に。

\* かき傷や炎症があると、しみますのでご注意ください。

# ウレパール® プラス ローション

効能・効果かゆみを伴う乾燥性皮膚(老人・成人の乾皮症、小児の乾燥性皮膚)成分と薬理作用 乾燥性皮膚の治療には、かゆみを早めに止めると同時に、カサカサした皮膚を正常にすることが重要です。①自然保湿因子の尿素と、ビタミンEが、かさつく肌をなめらかにし、潤いを与えます。②塩酸ジフェンヒドラミン、d-カンフル、リドカインの3種類の薬剤が、不快なかゆみをしずめます。メーカー希望小売価格100ml、2,000円(消費税抜き)※お求めは、薬局、薬店、デパートやスーパーの薬品部で。

この医薬品は、「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。

ドキュメンタリー

「脳死をこえて」

がオペラに

「ぜんじんきょう」No.173でも、

ご承知のように、女優の藤村志保さんが書かれた、「脳死をこえて」が、この度、オペラとなって上演されます。舞台芸術創造フェスティバル99「東京文化会館リニューアルオープン記念事業」東京室内歌劇場特別講演として企画されています。

6月26日は公演前にフォーラムがあります。午後1時30分開演。

・公演日

6月25日(金) 午後6時半開演

6月26日(土) 午後3時開演

尚、「ぜんじんきょう」No.173の日時は誤りで、正しくは、上記の通りです。

・会場

東京文化会館大ホール

・入場料金

S席一万五〇〇円 S席一万

A席八〇〇〇円など。

チケットの申込みは、お近くの

チケットぴあ、または東京文化会

館チケットセンター(Tel 03-3

707-4844)まで。

# オペラ 脳死をこえて

東京室内歌劇場 31期特別公演  
東京文化会館リニューアルオープン記念事業  
「舞台芸術創造フェスティバル99」特別公演

脚本 藤村志保 日本・作曲 坂高直 指揮 早出 演出 山崎真



the  
tokyo  
chamber  
opera  
theatre

平成11年6月25日(金) / オペラ「脳死をこえて」17時30分開演・19時30分開演  
26日(土) / フォーラム「脳死移植の真実」12時30分開演・13時30分開演・14時45分

開演 / 17時 / 19時 / 12時 / 13時 / 14時 / 15時 / 16時 / 17時 / 18時 / 19時 / 20時 / 21時 / 22時 / 23時 / 24時 / 25時 / 26時 / 27時 / 28時 / 29時 / 30時 / 31時 / 32時 / 33時 / 34時 / 35時 / 36時 / 37時 / 38時 / 39時 / 40時 / 41時 / 42時 / 43時 / 44時 / 45時 / 46時 / 47時 / 48時 / 49時 / 50時 / 51時 / 52時 / 53時 / 54時 / 55時 / 56時 / 57時 / 58時 / 59時 / 60時 / 61時 / 62時 / 63時 / 64時 / 65時 / 66時 / 67時 / 68時 / 69時 / 70時 / 71時 / 72時 / 73時 / 74時 / 75時 / 76時 / 77時 / 78時 / 79時 / 80時 / 81時 / 82時 / 83時 / 84時 / 85時 / 86時 / 87時 / 88時 / 89時 / 90時 / 91時 / 92時 / 93時 / 94時 / 95時 / 96時 / 97時 / 98時 / 99時 / 100時 / 101時 / 102時 / 103時 / 104時 / 105時 / 106時 / 107時 / 108時 / 109時 / 110時 / 111時 / 112時 / 113時 / 114時 / 115時 / 116時 / 117時 / 118時 / 119時 / 120時 / 121時 / 122時 / 123時 / 124時 / 125時 / 126時 / 127時 / 128時 / 129時 / 130時 / 131時 / 132時 / 133時 / 134時 / 135時 / 136時 / 137時 / 138時 / 139時 / 140時 / 141時 / 142時 / 143時 / 144時 / 145時 / 146時 / 147時 / 148時 / 149時 / 150時 / 151時 / 152時 / 153時 / 154時 / 155時 / 156時 / 157時 / 158時 / 159時 / 160時 / 161時 / 162時 / 163時 / 164時 / 165時 / 166時 / 167時 / 168時 / 169時 / 170時 / 171時 / 172時 / 173時 / 174時 / 175時 / 176時 / 177時 / 178時 / 179時 / 180時 / 181時 / 182時 / 183時 / 184時 / 185時 / 186時 / 187時 / 188時 / 189時 / 190時 / 191時 / 192時 / 193時 / 194時 / 195時 / 196時 / 197時 / 198時 / 199時 / 200時 / 201時 / 202時 / 203時 / 204時 / 205時 / 206時 / 207時 / 208時 / 209時 / 210時 / 211時 / 212時 / 213時 / 214時 / 215時 / 216時 / 217時 / 218時 / 219時 / 220時 / 221時 / 222時 / 223時 / 224時 / 225時 / 226時 / 227時 / 228時 / 229時 / 230時 / 231時 / 232時 / 233時 / 234時 / 235時 / 236時 / 237時 / 238時 / 239時 / 240時 / 241時 / 242時 / 243時 / 244時 / 245時 / 246時 / 247時 / 248時 / 249時 / 250時 / 251時 / 252時 / 253時 / 254時 / 255時 / 256時 / 257時 / 258時 / 259時 / 260時 / 261時 / 262時 / 263時 / 264時 / 265時 / 266時 / 267時 / 268時 / 269時 / 270時 / 271時 / 272時 / 273時 / 274時 / 275時 / 276時 / 277時 / 278時 / 279時 / 280時 / 281時 / 282時 / 283時 / 284時 / 285時 / 286時 / 287時 / 288時 / 289時 / 290時 / 291時 / 292時 / 293時 / 294時 / 295時 / 296時 / 297時 / 298時 / 299時 / 300時 / 301時 / 302時 / 303時 / 304時 / 305時 / 306時 / 307時 / 308時 / 309時 / 310時 / 311時 / 312時 / 313時 / 314時 / 315時 / 316時 / 317時 / 318時 / 319時 / 320時 / 321時 / 322時 / 323時 / 324時 / 325時 / 326時 / 327時 / 328時 / 329時 / 330時 / 331時 / 332時 / 333時 / 334時 / 335時 / 336時 / 337時 / 338時 / 339時 / 340時 / 341時 / 342時 / 343時 / 344時 / 345時 / 346時 / 347時 / 348時 / 349時 / 350時 / 351時 / 352時 / 353時 / 354時 / 355時 / 356時 / 357時 / 358時 / 359時 / 360時 / 361時 / 362時 / 363時 / 364時 / 365時 / 366時 / 367時 / 368時 / 369時 / 370時 / 371時 / 372時 / 373時 / 374時 / 375時 / 376時 / 377時 / 378時 / 379時 / 380時 / 381時 / 382時 / 383時 / 384時 / 385時 / 386時 / 387時 / 388時 / 389時 / 390時 / 391時 / 392時 / 393時 / 394時 / 395時 / 396時 / 397時 / 398時 / 399時 / 400時 / 401時 / 402時 / 403時 / 404時 / 405時 / 406時 / 407時 / 408時 / 409時 / 410時 / 411時 / 412時 / 413時 / 414時 / 415時 / 416時 / 417時 / 418時 / 419時 / 420時 / 421時 / 422時 / 423時 / 424時 / 425時 / 426時 / 427時 / 428時 / 429時 / 430時 / 431時 / 432時 / 433時 / 434時 / 435時 / 436時 / 437時 / 438時 / 439時 / 440時 / 441時 / 442時 / 443時 / 444時 / 445時 / 446時 / 447時 / 448時 / 449時 / 450時 / 451時 / 452時 / 453時 / 454時 / 455時 / 456時 / 457時 / 458時 / 459時 / 460時 / 461時 / 462時 / 463時 / 464時 / 465時 / 466時 / 467時 / 468時 / 469時 / 470時 / 471時 / 472時 / 473時 / 474時 / 475時 / 476時 / 477時 / 478時 / 479時 / 480時 / 481時 / 482時 / 483時 / 484時 / 485時 / 486時 / 487時 / 488時 / 489時 / 490時 / 491時 / 492時 / 493時 / 494時 / 495時 / 496時 / 497時 / 498時 / 499時 / 500時 / 501時 / 502時 / 503時 / 504時 / 505時 / 506時 / 507時 / 508時 / 509時 / 510時 / 511時 / 512時 / 513時 / 514時 / 515時 / 516時 / 517時 / 518時 / 519時 / 520時 / 521時 / 522時 / 523時 / 524時 / 525時 / 526時 / 527時 / 528時 / 529時 / 530時 / 531時 / 532時 / 533時 / 534時 / 535時 / 536時 / 537時 / 538時 / 539時 / 540時 / 541時 / 542時 / 543時 / 544時 / 545時 / 546時 / 547時 / 548時 / 549時 / 550時 / 551時 / 552時 / 553時 / 554時 / 555時 / 556時 / 557時 / 558時 / 559時 / 560時 / 561時 / 562時 / 563時 / 564時 / 565時 / 566時 / 567時 / 568時 / 569時 / 570時 / 571時 / 572時 / 573時 / 574時 / 575時 / 576時 / 577時 / 578時 / 579時 / 580時 / 581時 / 582時 / 583時 / 584時 / 585時 / 586時 / 587時 / 588時 / 589時 / 590時 / 591時 / 592時 / 593時 / 594時 / 595時 / 596時 / 597時 / 598時 / 599時 / 600時 / 601時 / 602時 / 603時 / 604時 / 605時 / 606時 / 607時 / 608時 / 609時 / 610時 / 611時 / 612時 / 613時 / 614時 / 615時 / 616時 / 617時 / 618時 / 619時 / 620時 / 621時 / 622時 / 623時 / 624時 / 625時 / 626時 / 627時 / 628時 / 629時 / 630時 / 631時 / 632時 / 633時 / 634時 / 635時 / 636時 / 637時 / 638時 / 639時 / 640時 / 641時 / 642時 / 643時 / 644時 / 645時 / 646時 / 647時 / 648時 / 649時 / 650時 / 651時 / 652時 / 653時 / 654時 / 655時 / 656時 / 657時 / 658時 / 659時 / 660時 / 661時 / 662時 / 663時 / 664時 / 665時 / 666時 / 667時 / 668時 / 669時 / 670時 / 671時 / 672時 / 673時 / 674時 / 675時 / 676時 / 677時 / 678時 / 679時 / 680時 / 681時 / 682時 / 683時 / 684時 / 685時 / 686時 / 687時 / 688時 / 689時 / 690時 / 691時 / 692時 / 693時 / 694時 / 695時 / 696時 / 697時 / 698時 / 699時 / 700時 / 701時 / 702時 / 703時 / 704時 / 705時 / 706時 / 707時 / 708時 / 709時 / 710時 / 711時 / 712時 / 713時 / 714時 / 715時 / 716時 / 717時 / 718時 / 719時 / 720時 / 721時 / 722時 / 723時 / 724時 / 725時 / 726時 / 727時 / 728時 / 729時 / 730時 / 731時 / 732時 / 733時 / 734時 / 735時 / 736時 / 737時 / 738時 / 739時 / 740時 / 741時 / 742時 / 743時 / 744時 / 745時 / 746時 / 747時 / 748時 / 749時 / 750時 / 751時 / 752時 / 753時 / 754時 / 755時 / 756時 / 757時 / 758時 / 759時 / 760時 / 761時 / 762時 / 763時 / 764時 / 765時 / 766時 / 767時 / 768時 / 769時 / 770時 / 771時 / 772時 / 773時 / 774時 / 775時 / 776時 / 777時 / 778時 / 779時 / 780時 / 781時 / 782時 / 783時 / 784時 / 785時 / 786時 / 787時 / 788時 / 789時 / 790時 / 791時 / 792時 / 793時 / 794時 / 795時 / 796時 / 797時 / 798時 / 799時 / 800時 / 801時 / 802時 / 803時 / 804時 / 805時 / 806時 / 807時 / 808時 / 809時 / 810時 / 811時 / 812時 / 813時 / 814時 / 815時 / 816時 / 817時 / 818時 / 819時 / 820時 / 821時 / 822時 / 823時 / 824時 / 825時 / 826時 / 827時 / 828時 / 829時 / 830時 / 831時 / 832時 / 833時 / 834時 / 835時 / 836時 / 837時 / 838時 / 839時 / 840時 / 841時 / 842時 / 843時 / 844時 / 845時 / 846時 / 847時 / 848時 / 849時 / 850時 / 851時 / 852時 / 853時 / 854時 / 855時 / 856時 / 857時 / 858時 / 859時 / 860時 / 861時 / 862時 / 863時 / 864時 / 865時 / 866時 / 867時 / 868時 / 869時 / 870時 / 871時 / 872時 / 873時 / 874時 / 875時 / 876時 / 877時 / 878時 / 879時 / 880時 / 881時 / 882時 / 883時 / 884時 / 885時 / 886時 / 887時 / 888時 / 889時 / 890時 / 891時 / 892時 / 893時 / 894時 / 895時 / 896時 / 897時 / 898時 / 899時 / 900時 / 901時 / 902時 / 903時 / 904時 / 905時 / 906時 / 907時 / 908時 / 909時 / 910時 / 911時 / 912時 / 913時 / 914時 / 915時 / 916時 / 917時 / 918時 / 919時 / 920時 / 921時 / 922時 / 923時 / 924時 / 925時 / 926時 / 927時 / 928時 / 929時 / 930時 / 931時 / 932時 / 933時 / 934時 / 935時 / 936時 / 937時 / 938時 / 939時 / 940時 / 941時 / 942時 / 943時 / 944時 / 945時 / 946時 / 947時 / 948時 / 949時 / 950時 / 951時 / 952時 / 953時 / 954時 / 955時 / 956時 / 957時 / 958時 / 959時 / 960時 / 961時 / 962時 / 963時 / 964時 / 965時 / 966時 / 967時 / 968時 / 969時 / 970時 / 971時 / 972時 / 973時 / 974時 / 975時 / 976時 / 977時 / 978時 / 979時 / 980時 / 981時 / 982時 / 983時 / 984時 / 985時 / 986時 / 987時 / 988時 / 989時 / 990時 / 991時 / 992時 / 993時 / 994時 / 995時 / 996時 / 997時 / 998時 / 999時 / 1000時

東京文化会館大ホール

TEL 03-3726-9222 FAX 03-3726-9700

〒114-8501 東京都大田区石川 1-20-2 102 有ゲルソン商会

TEL 03-3726-9222 FAX 03-3726-9700

電子レンジで3~4分、  
クック&チルドの手料理を  
手軽に安心して  
お楽しみいただけます。

## 宅配 透析食

毎週1セット3食~2セット6食分を  
クール宅急便でご自宅までお届けい  
たします。  
お受け取り後は冷蔵庫に保管し、季  
節により3~5日以内にお召し上がり  
ください。

### 3食セットメニュー例

- |                                     |   |  |
|-------------------------------------|---|--|
| A. 富貴寄せ煮<br>葱の酢味噌<br>きんかんの鮎煮<br>ごはん | B. さわらの西京焼き<br>切干し大根と<br>薩摩揚げの炒め煮<br>ポテトグラタン<br>あんずの甘煮<br>ごはん | C. 和風ハンバーグ<br>茄子の素揚げ<br>グリーンアスパラ<br>かぼちゃの焼煮<br>和えもの<br>ごはん |
|-------------------------------------|---|--|

### お届け代金

- ★試食……………1セット3食分……………¥3,570
- ★1クール……………4セット12食分……………¥13,020
- ★2クール……………8セット24食分……………¥26,040

注)クール宅急便送料、消費税込  
注)岩手県以北、関西以西へのお届けは割増送料となります

お問い合わせ・お申し込みは…

# Gerson

TEL.03-3726-9222 FAX.03-3726-9700  
有ゲルソン商会 〒145 東京都大田区石川町 1-20-2-102

## 東腎協が全国の仲間とともに勝ち取った成果の数々



健康保険  
本人2～3割の  
今、透析患者は更  
生医療とマル障で  
自己負担無しも  
活動の成果

毎月の福祉  
手当(15,500円、1998年)  
身体障害者手帳取得  
をもとに1974年から  
毎年支給も  
対都予算要請で

鉄道  
航空、高速料金  
身体障害者割引  
適用  
都営交通は  
無料

CAPDも  
在宅血液透析も  
夜間透析も  
通院透析の食事も  
健康保険  
適用

その他  
移植も検尿も  
研究も雇用も  
小児も  
制度改善

自分の医療と暮らしを守るために東腎協に加入を



東京都腎臓病患者連絡協議会

〒171-0005東京都豊島区南大塚2-38-1 一機セミナール新本社ビル6階  
TEL.03-3944-4048 FAX03-5940-9556